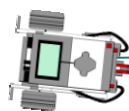


# Activity Report of Platinum Mirai School プラチナ未来スクール アクティビティレポート

このレポートは、プログラム終了ごとに、各教室の様子を保護者の皆様にお届けするものです。ご一読いただけると幸いです。

みなとみらい教室も本格的に運営が始まり、「プラチナ未来スクール」不定期開催の東京教室とあわせ3教室が展開しています。おかげさまで、どの教室でも、シニアスタッフ、学生スタッフ、主役の子どもたち、そして保護者のみなさまからの共感の声が続いていきます。

「未来を創る力」は、予定調和の中ではなかなか身につけません。想定外の出来事にどう対応するかという発想も大事な要素です。パソコンやプログラムのトラブル、意図したようになかなか動かない…様々なちいさなトラブルを、ねばり強くシニアのみなさんからの社会経験に基づく知見をヒントに解決していく。そのプロセスにこそ、当ロボット教室の価値があると考えています。「価値のない失敗はない」前向きな姿勢こそが大切なのです。



プラチナ未来スクール副校長 杉浦正吾

## ● 教室だより

### 【長崎大学教室】

長崎大学教室は第二期に突入。テーマはライン(線)をトレース(なぞる)する「トレスレーサー」ロボットでした。反射光の強さを測ることで、ロボット自身が黒い線の上にいるのか、または、黒い線の上になかったかを自分で判断できるようにするのですが、測る場所により異なる値が出ることに對して、『何故そうなるのだろう』と考えていた姿が印象的です。

「データロギング」という、測定データをリアルタイムにテキストファイルへ書き出す機能を学んだり、自分のプログラムをフローチャートに書き起こし、プログラムの理解を深めながら、思考錯誤した末に、実際に競技会のコースを何度も走らせてみます。こうして、競技会に向けて各々が熱のこもったチューニング作業を行いました。

最終日の競技会はまさに悲喜こもごもでしたが、みんな、息を呑みながらお互いの走りを見守っているをみて、子どもたちの成長を実感しました。

### 【みなとみらい教室】

第一期のテーマは、「すごろく」ロボットでした。使用するロボット(EV3)はレゴ社の教材。「レゴで遊んだことがある」という子どもも多く、とても親しみやすかったようで、楽しかったという声がたくさん上がりました。

プログラミングとセンサー(音・光・温度・圧力などに反応する感知器のこと)を理解し始めると、子どもたちには色々なアイデアが浮かんできます。

プログラムを設計するための、「フローチャート」は少し難しいようでしたが、これをもとにループ構造やスイッチ構造を使い、複雑なプログラムも表現できるようになりました。

競技会本番は順番に5本のペットボトルを倒していき、最短時間でゴールできた人が優勝です。ロボットがスムーズにペットボトルを倒した時には、子どもたちから歓声があがり盛り上がりました。ロボットに面白い工夫を凝らしたり、最後まで一生懸命プログラムを調整したりと、それぞれが全力で競技会に取り組むことができたようで、笑顔が絶えない時間となりました。

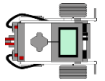


## ●東京教室だより

夏休みの8/10(木)・11(金)の2日間に短期集中プログラムとして、みっちり10時間、文京区のシビックホールで実施しました。

初日は、ロボットの基本に触れ、センサーの役割を知り、プログラミングを体験しました。簡単な競技会を実施することで、トライアンドエラーの大切さを学びました。少人数だったので、時間をかけてじっくりと対話しながら進めました。レゴ好きの子どもたちが多く、違和感なくすんなりとプログラムに導入できました。

2日目は、初日の内容をベースに、「シニア知見×小学生知見」でイノベーションを起こす「課題解決ロボットコンセプトづくり」ワークショップ。最後にはプレゼンテーション大会を実施しました。「砂漠の国の浄水ロボット」「高速道路の渋滞解消ロボット」「一人暮らしの老人用コミュニケーションロボット」…と驚きのロボット開発プレゼンテーションが続き、自由発想を促すアクティブラーニングを楽しく体験してもらうことができました。保護者のみなさんの満足度も高く充実した2日間となりました。今後も、「ロボット教室」のほかにも様々な講座を長期休暇などを利用して実施したいと思います。



## ●講師だより

今村眞明 先生

(三菱重工OB/みなとみらい教室)

子どもは熱心ですね。自分でどんどんチャレンジする姿勢が素晴らしい。過度に教えずぎず、考えるプロセスを大事にしています。担当する企業研修では必ず覚えなければいけないポイントなどありましたが、今は楽しみながら、学び合いができています！



尾浦孝夫 先生

(三菱電機OB/みなとみらい教室)

実はサッカーの指導もしており、常に自分で考えさせることを心掛けています。それがロボット教室でも活かしています。昔のような押しつけ学習でなく、子どものやわらかい発想と我々の現場力の化学反応がとても心地よいですね。



嶋崎康介 先生

(長崎大学大学院生/長崎大学教室)

これまで16回の授業を行ってきましたが、子どもたちから講師には思い付かないようなアイデアが飛び出してきて非常に驚かされます。私自身は、別にプログラミング教室の講師もしているのですが、本ロボット教室で身につけた生徒への接し方を活かしています。これからも改善を重ねてより良い活動をサポートしていきたいと思います。



金丸邦康 先生

(長崎大学元教授/長崎大学教室)

毎木曜日に、シニア、学生の講師陣は、工学部技術系職員の参加も得て研修会を開き、教材の検討を行った上、次回の授業方針を共有しています。こんなに配慮された小学生ロボット教室は、日本中なかなかないと自負しています！



☑主催 プラチナ構想ネットワーク

☑主催協力

長崎大学 地方創生推進本部

☑協力

長崎大学 ロボットサークル/

横浜国立大学 校友会・Robo+ism /  
三菱みなとみらい技術館

☑後援法人会員

三菱重工業株式会社

☑後援自治体会員

文京区/長崎市/横浜市

アクティビティレポートいかがでしたでしょうか。

プラチナ未来スクールに関する御意見・御質問は、下記事務局までお寄せください。

◆ロボット教室のお問合せ先

プラチナ未来スクール事務局(ネクスファ内)

メール:p-robo@next-ph.jp

電話04-7105-3419 ※平日13時~19時

詳しくはホームページをご覧ください。

Facebookページもございます。

<http://platinum-miraischool.jp/>

